



# 地球

2009年秋号

男女が共に生きる情報紙 VOL.82



(小出川の彼岸花)

## 身近な人と男女平等について話していますか？

2009年2月発行の『藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査』報告書を読み、男女共同参画について考えてみました。

### もくじ

- 「藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査」について  
ふじさわ男女共同参画推進協議会副会長にお伺いしました！
- とともに生きる社会の実現をめざして
- もしも、自分がアンケートの回答者に選ばれたら……
- インフォメーション

# 「藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査」について ふじさわ男女共同参画推進協議会副会長にお伺いしました!

昨年、藤沢市民を対象に実施された男女共同参画に関する意識調査をご存知ですか?

市民の日常生活の実態や意識を把握することで、「ふじさわ男女共同参画プラン2010(以下「プラン」)」の見直しや施策推進のための基礎資料とすることを目的として、5年に1度実施されています。

調査対象は市内在住の満18歳から69歳までの男女3,000人で、住民基本台帳からの無作為抽出で郵送配布回収法で実施されました。

調査票については、ふじさわ男女共同参画プラン推進協議会(以下「協議会」)で「意識調査専門部会」を立ち上げ作成されたと聞き、協議会の副会長であり、専門部会の部会長を務められた前田英孝さんにお話を伺いました。



前田 英孝 氏

2006年から「ふじさわ男女共同参画プラン推進協議会」に参加。現在、副会長。

元メーカー勤務で、主に工場運営、生産技術管理などを手がける。公害対策基本法施行直後(昭和46年)から公害防止管理者の指導者として従事。

著書に、「皆でやれる健康柔道」(共著)。

趣味はテニス 等。

40代の頃に家族とともにタイ国に赴任したことが、日本のことを考える機会にもなり、「何か一つでもお役に立ちたい」との思いで「ふじさわ男女共同参画プラン推進協議会」に関わっています。

## 調査項目は?

- A. 男女の平等について
- B. 結婚・家庭生活について
- C. 子育てについて
- D. 健康について
- E. 仕事と家庭の両立について
- F. 社会参加について
- G. 高齢社会と介護について
- H. 男女の人権について
- I. 男女共同参画に必要な施策について



**Q** 調査票を作成する上で苦労されたことは  
どんなところですか?

部会での活発な討議と事務局の助けもあり、特に苦労は感じなかったですが、「男女共同参画」の呼称が市民の皆さんに親しまれているかどうか不安で、先ず、調査票を見ていただけるかどうかを危惧しました。また回答数ではなく「回答率」を高くしたいと思い、いろいろと工夫しました。回答率が低ければ回答がかたよる可能性があるからです。

これらをどうするかが重要な課題となり、力を注いだところです。

そこで、調査票のタイトルを「ともに生きる社会の実現をめざして」とし、固くなりすぎないようにし、最初の設問で「あなたの身の回り(企業、地域、家庭、その他)で、男女共同参画(社会)が話題になったことがありますか」と尋ねることで、「男女共同参画」という呼称がどのくらい浸透しているか実情を把握することにしました。

また、調査期間の中間あたりで「提出のお願い」のハガキを出すということも行いました。

その甲斐あって、回収率も前回より増えて48.5%(1,454/3,000)となり、たいへんありがたかったです。

**Q** どこにポイントを置かれましたか?

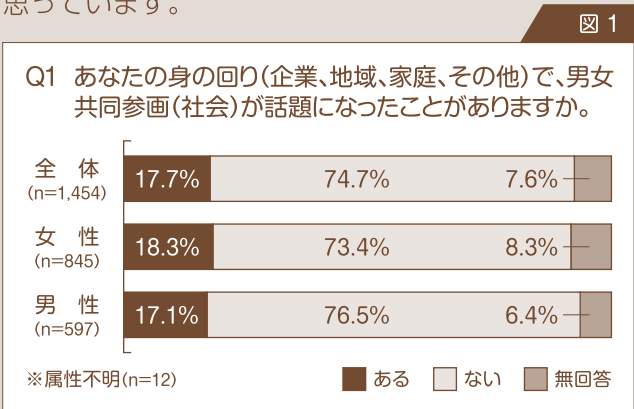
前回の調査項目で「就労について」としていたところを、今回は、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の観点から、設問を「仕事と家庭の両立について」に変更しました。「就労時間」や「通勤時間」「以前の職業を辞めた理由」も加え、一步踏み込んで現状の把握ができるようにしました。また、新しい調査項目として「健康について」を設け、日頃感じているストレス等についての問いかけもポイントになっています。

全体としては、前回の調査を活かしつつ「継続すべきもの」「一步踏み込むべきもの」「統合または整理できるもの」「新たに加えるもの」に分け、聞き置く感でなく「施策につながる設問」になるよう心がけました。

また、流れを意識して「関連質問の番号の見やすさ」や「似た設問を繰り返さない」こと、内容に関連する法律の制定年月日や用語の説明なども入れました。

**Q** この報告書がどのように活用され、  
市民に還元されることを望みますか?

今のプランが2010年までなので、2011年からの次期プランへ反映され、その中で目標の明確化と進行管理が着実に行われるよう望んでいます。意識調査のQ1の結果(図1)とその他回答から、男女共同参画の認知度は低いけれど、個々の設問への意識・認識は高いと感じました。今後はプランの周知と共に施策の推進が図られるよう、力を注ぎたいと思っています。



また、目標が社会全体に関わることなので、庁内組織(藤沢市男女共同参画推進会議等)とのつながりを活かしていきたいです。

プランの推進が「生活向上と同時に経済的価値の創造」にもつながれば、もっとスピーディに進展するのではないのでしょうか。例えば、環境に良い自動車に経済的価値の創造にも有効になりつつあるように、介護や保育にも具体的な取り組みがなされることによって、経済的効果にもつながる形をつくる必要があると思います。

この他にも、たくさんのお考えや気持ちを話していただくことができ、「男女共同参画」に対する前田さんの情熱を強く感じました。

お話の全てを載せられなくて残念です。

この意識調査の概要版は、市のホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/danryo-k/page100001.shtml>

(多根 記)



# ともに生きる社会の実現をめざして

「藤沢市男女共同参画に関する市民意識調査」の最後の設問、「男女共同参画社会を実現していくために行政に望むこと」に寄せられた意見を抜粋してみた。どれも共感できるものだ。

(以下、「その他」の意見原文を記載)

- 日本は男社会中心にこれまでやってきました。男性の意識を変えないとアメリカの人種差別意識と同じで建前と本音の違いがいざと言う時にあります。最終的には女性が力をつければ、即ち経済力をつけ、対等に渡り合える様になれば、解決するのですが、時間がかかります。これらを効率よく進める為にクォータ制<sup>\*</sup>が欧米で採用されたのでしょう。(女性、60代、無職)
- 企業が新卒ばかり採用するのではなく、子育て後の女性等が社会復帰できるような枠組みを国や企業が連携して社会作りしてほしい。(女性、60代、無職)
- 現実的な対策として育児休業／介護休業などを必要な時に利用させた企業に税金減額、免除などのメリットを与えると同時に、企業名を公表するなど制度を利用しやすい環境を作ることが大切。(男性、30代、会社員)
- 社会活動に参画するかは個人の自由であり、個人が志した時、窓口を開けておくのは大事なことだと思う。男女ともに同じ割合で社会のあらゆる分野に参画するには、幼い頃から平等であるという意識を持たせる必要があると思う。(女性、30代、会社員)
- 保育園が不足している。なかなか申請が認められず、女性が社会で安心して働ける状況ではない。一刻も早く改善を！(男性、40代、会社員)

## \* クォータ制

クォータ制とは、男女機会均等の実現を目的として、公的機関や公的委員会に一定割合の女性枠を設けることを定めた制度のこと。



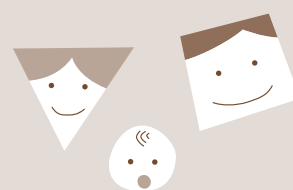
- 男女とも自分の考えを話し合えるような関係の構築、特に家庭で。(女性、50代、パート)
- 子どもが安心して1人で行動できる社会になれば、女性も安心して共同参画できるのでは……。 (女性、30代、無職)
- 全て本人の能力次第。(男性、60代、契約・派遣社員)
- 男性だから女性だからという区別でなく一人間として能力が生かせる社会になれるよう国全体で考えてほしい。まだまだ頭のカタイ男社会を考える多くの政治家、企画のトップがいる限り男女共同社会は難しいと思います。(女性、40代、パート)
- 結局は女性が働き続けるのに乗り越えるべき点は2回あり、結婚と出産です。ここを柔軟に対応している世の中にならないと難しいと思います。(女性、30代、会社員)



この種類の報告書を真剣に読んだのは、本当に久しぶりだ。啓発用の冊子ではないので、正直とても読みづらかった。漠然と読み取れたのは、社会に対する、不安、子育てや介護に対するストレスなど多岐にわたるものだった。男女共同参画については、積極的に家庭や会社で話し合われているという印象は受けなかった。特に男性は、家庭で話題にすることに消極的な印象を受けた。報告書のそれぞれの項目について適格な解説が書かれているのにあえて感想というのもおかしなものだが、女性解放についての考えがはじめて唱えられてから数十年が経過している割には、進展が見られない気がする。

大切なことは、一人ひとりが幸せになる権利を持っているということを自覚しなおして、男女、年齢、弱者等の区別なく全ての人が暮らしやすい社会を築いていくことなのだろう。

そんな社会を実現するために、意識調査のQ31で、「女性も男性も対等なパート

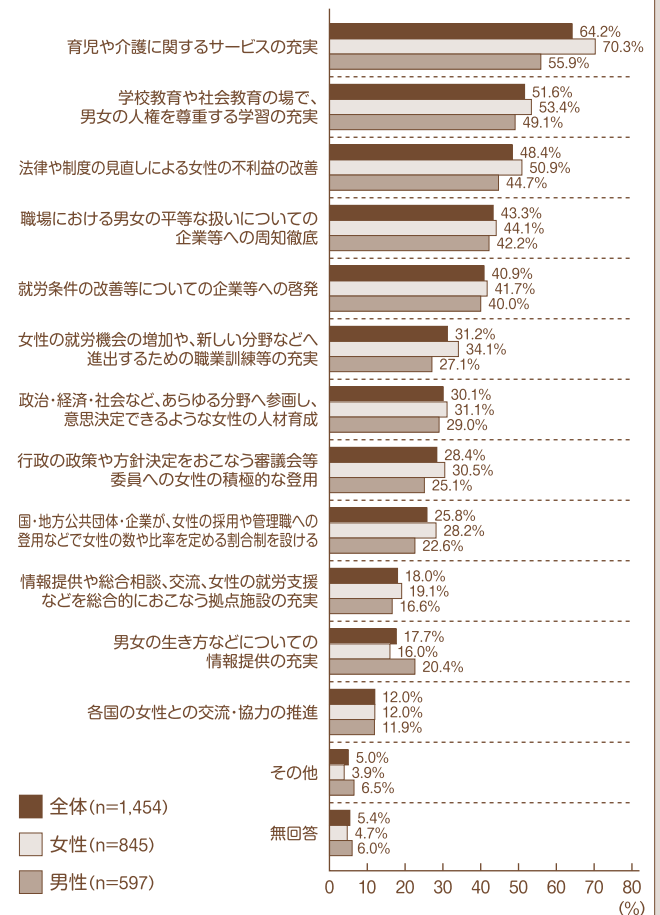


ナーとして社会のあらゆる分野に参画していく男女共同参画社会を実現していくために、あなたは行政に対してどのようなことを望みますか」と聞いている。

回答(図2)は、「育児や介護に関するサービスの充実」(64.2%)「学校教育や社会教育の場で男女の人権を尊重する学習の充実」(51.6%)「法律や制度の見直しによる女性の不利益の改善」(48.4%)の項目が上位を占める結果となった。

図2

Q31 女性も男性も対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に参画していく男女共同参画社会を実現していくために、あなたは行政に対してどのようなことを望みますか。



歴史的背景をもつ意識の改革には、時間がかかるのは当然のことだ。

学生だったころ、子育てを通して自分の子どもに男女平等の意識をしっかりと伝えていけば、きっと子どもの世代で男女平等は実現すると思っていた。

しかし、あの当時思っていたような社会状況には、まだなっていないと思う。(川辺 記)

# もしも、自分がアンケートの回答者に選ばれたら……

もしも、自分がアンケートの回答者に選ばれてしまったらどうしよう？ そう思って、市民意識調査をやってみた。

まず、驚いたのは質問の量がたいへん多いことである。加えて細かい内容の質問もあり、深く考えてからでないとなぜか答えられないような難しいものもある。かなりのエネルギーを要するアンケートだ。

男女の平等について問われる冒頭の質問は、改めて自分自身の中にある「男女平等意識」と「日常の男女平等」の二点について気づかされるのが沢山あった。話題にしないこと自体が男女平等の意識が日常化しているという考え方。学校生活においては「平等」で心地よかった環境が大人になってからの職場や家庭では「不平等」になってしまう現実。私自身も学校を卒業して会社に入り、結婚して、男性優位の現場に唾然としたものである。そんな昔の話が今もまだ残っているのかと思うとたいへん残念に思う。



「自立」というキーワードに「経済的」という形容詞が付くようになって、働く女性も増えてきた。それを少子化の原因にするのは納得がいかないが、出産は女性だけができる人生の大イベントであり、やはり仕事を続けていく上ではどうしても性差が出てしまうのは仕方がないように思える。それをカバーする社会の仕組みが遅々として進まない苛立ちは私だけが感じているのかと思ったが、誰もが感じていることがアンケート結果からもうかがえ、ホッとした。

一番興味深かったのは、高齢社会と介護について問う項目で、自分自身、今現在よりも未来の藤沢がどうなっていくのか？ どう変わってくれるのか？ を期待していることにハッとした。女性の方が平均寿命は長いとはいるが、障害を抱えて介護をしてもらう立場になることもあり得る。そんなとき、夫は介護休暇を取れるだろうか？ M字型曲線\*の通りに職場復帰した私だけが仕事を辞めたり休んだりして親の介護をするの

は不平等なのではないだろうか？ では、夫の方が親の介護を理由に休暇が取れるのだろうか？ どの答えも「NO」の色が濃く心配ばかりが増えていく。アンケートという扉を押したばかりに、どうやらパンドラの箱を開けてしまったようだ。

男女の人権については常々メディアの性表現や暴力表現に辟易していた。年頃の息子がいる身としては「ちょっと勘弁してよ」が週一回はある。セクハラ・パワハラは日常のあらゆる場面で起こりうる現象であり、またDVもカウンセリングで解決するのは難しいと思えるが、それを期待する市民の声が多い事実、さらなる啓発や研究、分析が望まれる。

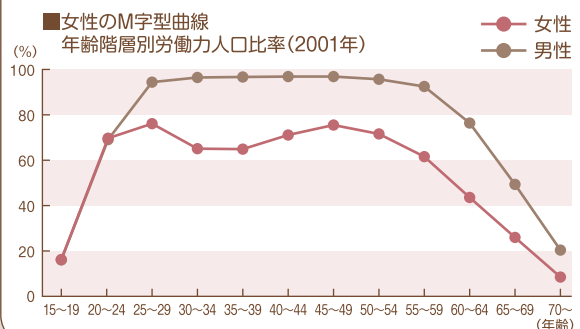
ざっとやってみただけでも1時間ちょっと。非常に疲れる。アンケートをとおして、自分自身の心の中、とりまく環境、過去・現在・未来、そして私の家族・友人・知人の顔を思い浮かべながら、1問1問に向き合った。本当に疲れた。これを回答者に選ばれた約半数の市民の方が返信して下さったという事実、ただただ頭が下がった。男女比も4対6（なぜ女男比と言わないのだろうか？）、年代もバランスがよく、たいへん信頼できる報告書になっていると思った。これからの藤沢市に期待したいと思う。（尾澤 記）



## \* M字型曲線

日本の女性労働者の働き方の特徴を示したものの、女性の年齢階層別労働力率を折れ線グラフで表すと、30歳代前半を底とする、Mの形になることからこう呼ばれている。

これは、結婚、出産、育児の期間は仕事を辞めて家事に専念し、子育て終了後に再就職するという、日本の女性のライフスタイルを示しており、女性が育児の期間に仕事を続ける環境が整っていないことを意味しているといわれている。



総務省「労働力調査」より作成(2001年)

# インフォメーション

## 共生社会推進課からのお知らせ

2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業・講演会  
「共に生きるフォーラムふじさわ2009」開催のお知らせ

**子育ては楽しい!** ~笑って考える ワーク・ライフ・バランス~  
(仕事と生活の調和)



- 講 師：瀬地山 角(せちやまかく)氏  
(東京大学大学院総合文化研究科教授)
- 日 時：11/21(土)  
13:00~15:00
- 場 所：藤沢市役所新館7階  
第7会議室
- 定 員：200名(申し込み順・参加無料)

※手話・要約筆記・保育あり(保育:2歳以上就学前・要予約 11/9(月)締切。希望者の多い場合は、先着順とさせていただきます)

### ■申し込み方法

藤沢市ホームページ電子申請・電話・FAX・Eメールのいずれかで ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④保育の有無(こどもの名前(ふりがな)・年齢・性別)を記入の上、お申し込みください。

10月13日(火)8:30から受け付け開始

- ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ※参加者には、入場整理券を送付します。
- ※申し込みの際し、ご連絡いただいた個人情報につきましては、厳密に管理し、出席確認及びフォーラム等のご案内以外には使用いたしません。

### ■申し込み・問い合わせ

藤沢市共生社会推進課 TEL:0466-25-1111(内2131)  
FAX:0466-24-5928  
電話での受け付けは、月~金曜日 8:30~17:00まで。  
E-mail:kyousei@city.fujisawa.kanagawa.jp  
URL: <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kyousei/>

### ■主催

共に生きるフォーラムふじさわ2009実行委員会・藤沢市

## 勤労市民課の講座 問い合わせ先：勤労市民課 ☎50-8222

### 就職支援セミナー

雇用形態別 就職のプロセス・適職選択、応募書類の書き方、面接対策ほか

- 日 時：10/6、11/10、12/1 全火曜日
  - 正社員希望者対象 ……13:00~17:00
  - パート・アルバイト希望者対象 ……10:00~12:00
  - ※正社員希望者対象のみ、テキスト代400円
- 対 象：市内在住在勤の就職・転職を希望する方、各20人

対象別 各対象者にあった、就職支援に対してのアドバイスを行いながら、就職等のプロセスを学びます。

- 日 時：●高齢者対象 ……10/20午後、12/15午前
- 女性対象 ……11/17午前、12/15午後
- 若年者対象 ……10/20午前、11/17午後
- 全火曜日/午前→ 9:30~12:30  
午後→13:30~16:30

※日程の変更がある場合がございますので、今後発行の広報ふじさわでご確認ください。

- 対 象：市内在住在勤の就職・転職を希望する方、各20人

### 就職支援個別カウンセリング

- 内 容：就労に向けた相談に個別アドバイスします。
- 日 時：10/1、8、15、22、29、11/5、12、19、26、12/3、10、17  
全木曜日/10:00~16:30
- 対 象：市内在住在勤の就職・転職を希望する方。  
各日5人(ひとり1時間以内)

- 申し込み：両講座とも、随時受付(定員になり次第締切り)。  
電話または来所で「藤沢しごと相談システム運営センター(労働会館内)」へ。  
☎23-8222(月~金曜日・祝日除く 9:00~17:00)

かがやけ地球は、市民の編集員さんの企画・運営によって、年4回発行しています。

編集スタッフ：尾澤 敦子・川辺 裕子・多根 純子

天然ガスがひらく未来



次の世代の子どもたちのために、  
いま、わたしたちが出来ること…  
東京ガスは考えています。

東京ガスは、化石燃料の中でCO<sub>2</sub>やSO<sub>x</sub>・NO<sub>x</sub>の発生量が最も少ないクリーンなエネルギーである天然ガスを使用した、効率的なエネルギーシステムの普及・拡大に努めています。また、環境にやさしい暮らしやエコライフの提唱など、環境コミュニケーション活動を推進しています。

<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

エネルギー・フロンティア  
TOKYO GAS

藤沢・茅ヶ崎・寒川 “湘南”がエリアのFM放送局



<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121



All for the Guest

総てはお客様のために

**Bridal  
Banquet  
Stay  
Restaurant**

グランドホテル湘南

〒251-0054 藤沢市朝日町11番地  
お問合せTEL 0466-22-1311  
<http://www.shonanhmg.co.jp>